

外来における在宅療養支援能力向上のための研修プログラム

● eラーニング講義【200分】

章	単元／主な内容	講師(所属等) ※敬称略	時間
1	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割 1. 外来看護を取り巻く環境の変化 2. 外来医療に関する政策動向 3. 社会の変化と政策動向に基づく外来看護職の役割	吉川 久美子 (公益社団法人日本看護協会常任理事)	40分
2	外来における在宅療養支援 1. 在宅療養支援とは 2. なぜ在宅療養支援が必要か 3. 在宅療養支援を担う看護職の役割	永田 智子 (慶応義塾大学看護医療学部教授)	40分
3	在宅療養を支える地域連携とネットワーク 1. なぜ地域連携が必要か 2. 地域との連携体制構築の方策	吉田 千文 (常磐大学看護学部教授)	40分
4	在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援 1. 意思決定の現状と課題 2. 外来看護職に求められる意思決定支援	藤井 淳子 (東京女子医科大学病院家族支援専門看護師)	40分
5	在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源 1. 在宅療養患者が活用可能な社会資源の基礎知識 2. 地域における多職種連携・協働の実際と推進の必要性	松本 明子 (医療法人社団聖カタリナ病院ナースマネージャー)	40分

● 事前課題

eラーニングによるすべての講義を受講後、演習実施前までに下記について、各自がまとめる。(A4 1~2枚程度)

- ① 地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
- ② 外来における療養支援について自身が感じている課題

● 演習【150分】

主な内容	
講義	京都府における、医療・看護を取り巻く状況等について
事例検討	グループディスカッション; 事例検討
全体共有	グループからの報告及び質疑応答・意見交換